

馬場ひでゆきの活動日誌

No.81

決議の要旨

二元代表制の下、県議会
は、知事が判断した県民の意
思を確認する方法を尊重する
とともに、その方法として県
議会を選択した場合、知事が
出した結論について真摯に向
き合い、熟議のうえ、議会の
意思を示すことを決意する。

自民党公明党で幕引き図る！

10月21日、県議会の最終日、
柏崎刈羽原発の再稼働問題につ
いて、とんでもない決議案が自
民党、公明党、真政にいがたの
賛成多数で可決されてしまいま
した（決議本文は日誌80に掲載）。

内容は、花角知事がした原発
再稼働の判断について、知事が
県民意思の確認方法を県議会に
委ねた場合、県議会が議会の意
思を示す、というものです。

要は原発再稼働問題について、
県議会の議決で幕引きを図ると
いうものです。

私は次の二つの理由から反対
の討論をしました。

知事は「公約」を実践せよ

一つ目は、決議案の、知事の
下した県民の意思の確認方法を
尊重するということについてで
す。

知事は、8年前の県知事選の
最終盤、新聞に全面広告を出し、
「新潟県の3つの検証が終るま
で再稼働の議論はしません」
「再稼働の是非は、県民に信を
問います」と言いました。

当選後の6月11日の記者会見
でも、再稼働を巡る自身の判断
について「職を辞して信を問う
こともありうるし、通常の知事
選の中で結論を主張してこれお
任せいただけますかと確認する
こともありうる」と言っていま
した。

つまり、知事は「県民に信を
問う」ことを公約として掲げ、
それを県民が期待して一票を知
事に投じて知事は当選したので
す。「県民に信を問う」が明確
な選挙公約になり、「県民」と
は一人一人の新潟県民を指すこ
とに間違いありません。

したがって、今、知事がする

べきことは、公約の実践です。
県民投票、県知事選という県民
一人一人に再稼働是非の判断の
機会を与えることが、公約の実
践に他ならず、県議会の議決な
どありません。

議会は知事の発言の

検証をするべき

一つ目は、二元代表制につい
てです。二元代表制とは、首長
も議員も、住民から直接選挙で
選ばれるという制度です。決議
案は、この二元代表制の意義を
理解していません。

知事というリーダーは、お金
や人事といった強大な権力を握っ
ています。だからこそ、県民か
ら選ばれた議会は、その知事の
行動をチェックすることが必要
です。二元代表制の本質は、権
力分立の観点から、議会が知事
の行動をチェックすることにあ
ります。

知事の方針が正しいのであれ
ば、議案の議決で議会の意思を
表明すればいいので、あえて今
回のような決議なんてする必要
はありません。

今、花角知事は、新潟県民と
の間でした自らの選挙公約を自
ら反故にしようとしています。
新潟県民の代表機関である県議
会に求められていることは、知
事の行動を応援するのではなく、
知事が8年前からしてきた原発
再稼働に関する知事の発言や行
動を検証することと考えます。

以上、①知事がするべきは、
「確認方法の選択」ではなく公
約の実践であること、②議会が
するべきは、知事の後押しでは
なく、知事の発言を検証するべ
きである、という理由で、反対
の意見といたします。

9月議会の論点

その2

トキエア 県からの貸付金 県に条件変更の申出

10月8日の県議会建設公安委員会、県がトキエアに対して就航支援で融資した11億6千万円について、トキエアが第1回目の元金返済の期限である10月30日までに返済することができず、県に対して返済の延長（条件変更）を求める申出があったことが明らかになりました。

県は令和4年、就航に必要な資金の一部としてトキエアに11億6千万円を融資しました。令和7年度から年額2億3200万円ずつ5年かけて返済する予定でした。

※ 県の課長から「条件変更」の話がでると、委員会席がざわつきました。

※ その頃、トキエアが、実業家の堀江貴文氏を取締役に迎え、新規事業も立ち上げるとの報道があり、経営も順調に推移しているかのように受け止められていた矢先のことであり、委員も非常に驚いたわけです。

※ 与党派の自民党も、そのときまで知らなかったと思います。ただ、トキエアの決算公告に

よれば、令和7年度までの繰越損失は26億円の赤字になっています。今後の黒字化の具体的な展望も見えてきません。

委員からは、「経営状況や今後の経営計画について精査しているのか」と問いかける質問が相次ぎました。県からは、条件変更に応ずる方針との回答があったものの、説得的な理由は示されませんでした。

※ 県の姿勢は甘いです。引き続き追及していきます。

体育館の空調設備

新潟県は全国より遅れる

10月3日の一般質問では、令和7年度の文科省の調査で公立小中学校の体育館及び武道場における空調設備の直近の設置率が全国平均22・7%であるのに対して、本県は4・4%と全国平均を大きく下回っていることが明らかになりました。

※ 同調査をみると、東京都は92・5%、大阪府は49・2%、他方、お隣の長野県は14・3%、富山県は3・8%、人口密度の高い都府県で空調設備の設置が進んでいるのもと思われます。

「選挙公約って何なんだろう」 2018年6月10日の新潟県知事選挙の結果、覚えていますか。

花角英世 544,760票
池田千賀子 509,568票
安中 聡 45,628票

私は、当時、上越市の池田千賀子陣営の選対に入っていました。当時は、原発再稼働に慎重だった米山氏が退任しての選挙でしたが、原発に対する不安は根強く残っていました。自民党・公明党が支持する花角氏と野党が推す池田氏とが選挙最終盤までデッドヒートを繰り広げ、結果は投票箱を開けるまでわからないという大接戦でした。

花角氏が勝利したのは、原発再稼働問題について「県民の信を問う」として、池田氏と同じような主張をして原発の争点を回避したことにあります。それなのに今更の裏切り。公約って簡単に破っていいことになれば、政治への不信は増幅するのみです。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイアパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp

募集中

出張馬場の おしゃべり会

少人数の「おしゃべり会」をさせていただける場を設けてくださる方を募集中です。
お茶飲み友達や、趣味の仲間などにお声掛けいただければうれしいです。ご希望があればどこでも行きます！

お問い合わせは事務所まで。
☎025-546-7110

